

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	国家試験対策		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時間	通年 未定	教室名	401 501
担 当 教 員	杉山 梨奈	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
1, 2学年で修学した生化学・臨床化学の知識をどのように考え実践するかと共に臨床検査技師国家試験に向けての対策を教科書及び補遺プリントにて纏めながら復習問題の解答、解説を実施。国家試験合格を目指す。模擬試験を通じて知識の定着、向上を目指す。						
《成績評価の方法と基準》						
復習小問題、模擬試験を実施						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書、補遺プリント、その他参考書籍:ヒトの生化学、基礎と臨床をつなぐ生化学実践問題(訳文)、臨床化学教科書						
《授業外における学習方法》						
各自、過去の国家試験問題集を見直しする。						
《履修に当たっての留意点》						
臨床検査の各分野(血液学、微生物学、免疫学、臨床化学、病理・細胞診断学等)の基本となる学問ゆえ、単一としてでなく総合的に関連付けて理解することが必要であり、臨床との関係も含めて学習すること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	生命の基本単位である細胞について、構造と各オルガネラの機能を説明出来るようになる	教科書、補遺プリント、参考書、復習小問題	教科書及び補習プリントを事前に予習する事。	
		各コマにおける授業予定	細胞の構造と機能について			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	電解質と微量元素について、各代謝や臨床的意義を理解し説明出来るようになる	教科書、補遺プリント、参考書、復習小問題	教科書及び補習プリントを事前に予習する事。	
		各コマにおける授業予定	電解質と微量元素について、各代謝や臨床的意義を理解し説明出来るようになる			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	糖質の定義、基本構造と糖質代謝(解糖、糖新生、TCA回路と酸化的リン酸化糖等)を説明出来るようになる	教科書、補遺プリント、参考書、復習小問題	教科書及び補習プリントを事前に予習する事。	
		各コマにおける授業予定	糖質の定義、基本構造とエネルギー産生の仕組み、臨床との関係(糖尿病等)について			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	脂質の構造と代謝、リン脂質と代謝、エネルギー産生について説明出来るようになる	教科書、補遺プリント、参考書、復習小問題	教科書及び補習プリントを事前に予習する事。	
		各コマにおける授業予定	脂質の構造と代謝、リン脂質と代謝及び全身の脂質代謝と糖質に続くエネルギー産生物質として、臨床との関係(高脂血症等)について			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	タンパク質の構造と機能、アミノ酸代謝と尿素回路、生体酵素及び核酸について説明出来るようになる	教科書、補遺プリント、参考書、復習小問題	教科書及び補習プリントを事前に予習する事。	
		各コマにおける授業予定	タンパク質の構造と機能、アミノ酸とヌクレオチドの構造と代謝、酵素反応速度論及び臨床との関係について			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 生体色素やビタミンについて説明出来るようになる	教科書、補遺プリント、参考書、復習小問題	教科書及び補習プリントを事前に予習する事。
	各コマにおける授業予定	生体色素の代謝、ビタミンと補酵素及び分類、臨床との関係について		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 ミネラル、内分泌代謝について説明出来るようになる	教科書、補遺プリント、参考書、復習小問題	教科書及び補習プリントを事前に予習する事。
	各コマにおける授業予定	ミネラル、ホルモンの分類臨床との関係について		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 疾患マーカー、臨床化学や生化学に関する病態について説明出来るようになる	教科書、補遺プリント、参考書、復習小問題	教科書及び補習プリントを事前に予習する事。
	各コマにおける授業予定	疾患マーカー、臨床化学や生化学に関する病態について		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標 酵素について説明出来るようになる	教科書、補遺プリント、参考書、復習小問題	教科書及び補習プリントを事前に予習する事。
	各コマにおける授業予定	酵素の働きや分類、臨床との関係について		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 総合問題が解けるようにする	教科書、補遺プリント、参考書、復習小問題	教科書及び補習プリントを事前に予習する事。
	各コマにおける授業予定	すべての範囲の総復習		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 演習を通じて問題を解き、国試で合格できる知識が得られる。	テキストプリント	教科書及び補習プリントを事前に予習する事。
	各コマにおける授業予定	アンモニア尿酸 尿素 クレアチニン ビリルビンの肝臓、腎臓機能		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標 演習を通じて問題を解き、国試で合格できる知識が得られる。	テキストプリント	教科書及び補習プリントを事前に予習する事。
	各コマにおける授業予定	タンパク質の性質臨床的意義 基準値について		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標 微量元素の種類と臨床的意義について理解し国試で合格できる知識が得られる。	テキストプリント	教科書及び補習プリントを事前に予習する事。
	各コマにおける授業予定	鉄、銅、亜鉛、マンガン、コバルト、ヨウ素の機能と欠乏症（電解質）		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 演習を通じて問題を解き、国試で合格できる知識が得られる。	テキストプリント	教科書及び補習プリントを事前に予習する事。
	各コマにおける授業予定	多重測定による測定精度の確認		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標 演習を通じて問題を解き、国試で合格できる知識が得られる。	テキストプリント	教科書及び補習プリントを事前に予習する事。
	各コマにおける授業予定	電解質の測定と原理 基準値と臨床的意義		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	国家試験対策		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時間	通年 未定	教室名	401 501
担 当 教 員	杉山 梨奈	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
1, 2学年で修学した生化学・臨床化学の知識をどのように考え実践するかと共に臨床検査技師国家試験に向けての対策を教科書及び補遺プリントにて纏めながら復習問題の解答、解説を実施。国家試験合格を目指す。模擬試験を通じて知識の定着、向上を目指す。						
《成績評価の方法と基準》						
復習小問題、模擬試験を実施						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書、補遺プリント、その他参考書籍:ヒトの生化学、基礎と臨床をつなぐ生化学実践問題(訳文)、臨床化学教科書						
《授業外における学習方法》						
各自、過去の国家試験問題集を見直しする。						
《履修に当たっての留意点》						
臨床検査の各分野(血液学、微生物学、免疫学、臨床化学、病理・細胞診断学等)の基本となる学問ゆえ、単一としてでなく総合的に関連付けて理解することが必要であり、臨床との関係も含めて学習すること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	演習を通じて問題を解き、国試で合格できる知識が得られる。	テキスト プリント	教科書及び補習プリントを事前に予習する事。	
		各コマにおける授業予定	糖化と疾患の関係(ヘモグロビンA1c.) 添加回収による正確度の確認 グルコースと疾患			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	演習を通じて問題を解き、国試で合格できる知識が得られる。	テキスト プリント	教科書及び補習プリントを事前に予習する事。	
		各コマにおける授業予定	臨床酵素の確認 臨床酵素と疾患			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	演習を通じて問題を解き、国試で合格できる知識が得られる。	テキスト プリント	教科書及び補習プリントを事前に予習する事。	
		各コマにおける授業予定	ビタミンの過剰や欠乏症、腫瘍マーカーと関連臓器を学ぶ。			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	演習を通じて問題を解き、国試で合格できる知識が得られる。	テキスト プリント	教科書及び補習プリントを事前に予習する事。	
		各コマにおける授業予定	内分泌異常と疾患 内分泌異常と疾患(過去問)			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	演習を通じて問題を解き、国試で合格できる知識が得られる。	テキスト プリント	教科書及び補習プリントを事前に予習する事。	
		各コマにおける授業予定	機能検査の疾患や欠乏症、機能検査に関連する臓器を学ぶ。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	演習を通じて問題を解き、国試で合格できる知識が得られる。		テキスト プリント	教科書及び補習プリント を事前に予習する事。
	各コマにおける授業予定	総合演習(統合①)			
第22回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	演習を通じて問題を解き、国試で合格できる知識が得られる。		テキスト プリント	教科書及び補習プリント を事前に予習する事。
	各コマにおける授業予定	総合演習(統合②)			
第23回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	演習を通じて問題を解き、国試で合格できる知識が得られる。		テキスト プリント	教科書及び補習プリント を事前に予習する事。
	各コマにおける授業予定	総合演習(統合③)			
第24回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	演習を通じて問題を解き、国試で合格できる知識が得られる。		テキスト プリント	教科書及び補習プリント を事前に予習する事。
	各コマにおける授業予定	総合演習(統合④)			
第25回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	演習を通じて問題を解き、国試で合格できる知識が得られる。		テキスト プリント	教科書及び補習プリント を事前に予習する事。
	各コマにおける授業予定	総合演習(統合⑤)			
第26回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	演習を通じて問題を解き、国試で合格できる知識が得られる。		テキスト プリント	教科書及び補習プリント を事前に予習する事。
	各コマにおける授業予定	総合演習(統合⑥)			
第27回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	演習を通じて問題を解き、国試で合格できる知識が得られる。		テキスト プリント	教科書及び補習プリント を事前に予習する事。
	各コマにおける授業予定	総合演習(統合⑦)			
第28回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	演習を通じて問題を解き、国試で合格できる知識が得られる。		テキスト プリント	教科書及び補習プリント を事前に予習する事。
	各コマにおける授業予定	総合演習(統合⑧)			
第29回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	演習を通じて問題を解き、国試で合格できる知識が得られる。		テキスト プリント	教科書及び補習プリント を事前に予習する事。
	各コマにおける授業予定	総合演習(統合⑨)			
第30回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	演習を通じて問題を解き、国試で合格できる知識が得られる。		テキスト プリント	教科書及び補習プリント を事前に予習する事。
	各コマにおける授業予定	総合演習(統合⑩)			

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	国家試験対策		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時間	通年 未定	教室名	401 501
担 当 教 員	杉山 梨奈	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
1, 2学年で修学した生化学・臨床化学の知識をどのように考え実践するかと共に臨床検査技師国家試験に向けての対策を教科書及び補遺プリントにて纏めながら復習問題の解答、解説を実施。国家試験合格を目指す。模擬試験を通じて知識の定着、向上を目指す。						
《成績評価の方法と基準》						
復習小問題、模擬試験を実施						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書、補遺プリント、その他参考書籍:ヒトの生化学、基礎と臨床をつなぐ生化学実践問題(訳文)、臨床化学教科書						
《授業外における学習方法》						
各自、過去の国家試験問題集を見直しする。						
《履修に当たっての留意点》						
臨床検査の各分野(血液学、微生物学、免疫学、臨床化学、病理・細胞診断学等)の基本となる学問ゆえ、単一としてでなく総合的に関連付けて理解することが必要であり、臨床との関係も含めて学習すること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第31回	演習形式	授業を通じての到達目標	模擬試験を通じて問題を解き、国試で合格できる知識が得られる。	テキスト プリント	教科書及び補習プリントを事前に予習する事。	
		各コマにおける授業予定	模擬試験①			
第32回	演習形式	授業を通じての到達目標	模擬試験を通じて問題を解き、国試で合格できる知識が得られる。	テキスト プリント	教科書及び補習プリントを事前に予習する事。	
		各コマにおける授業予定	模擬試験②			
第33回	演習形式	授業を通じての到達目標	模擬試験を通じて問題を解き、国試で合格できる知識が得られる。	テキスト プリント	教科書及び補習プリントを事前に予習する事。	
		各コマにおける授業予定	模擬試験③			
第34回	演習形式	授業を通じての到達目標	模擬試験を通じて問題を解き、国試で合格できる知識が得られる。	テキスト プリント	教科書及び補習プリントを事前に予習する事。	
		各コマにおける授業予定	模擬試験④			
第35回	演習形式	授業を通じての到達目標	模擬試験を通じて問題を解き、国試で合格できる知識が得られる。	テキスト プリント	教科書及び補習プリントを事前に予習する事。	
		各コマにおける授業予定	模擬試験⑤			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第36回	演習形式	授業を通じての到達目標	模擬試験を通じて問題を解き、国試で合格できる知識が得られる。	テキスト プリント	教科書及び補習プリントを事前に予習する事。
		各コマにおける授業予定	模擬試験⑥		
第37回	演習形式	授業を通じての到達目標	模擬試験を通じて問題を解き、国試で合格できる知識が得られる。	テキスト プリント	教科書及び補習プリントを事前に予習する事。
		各コマにおける授業予定	模擬試験⑦		
第38回	演習形式	授業を通じての到達目標	模擬試験を通じて問題を解き、国試で合格できる知識が得られる。	テキスト プリント	教科書及び補習プリントを事前に予習する事。
		各コマにおける授業予定	模擬試験⑧		
第39回	演習形式	授業を通じての到達目標	模擬試験を通じて問題を解き、国試で合格できる知識が得られる。	テキスト プリント	教科書及び補習プリントを事前に予習する事。
		各コマにおける授業予定	模擬試験⑨		
第40回	演習形式	授業を通じての到達目標	模擬試験を通じて問題を解き、国試で合格できる知識が得られる。	テキスト プリント	教科書及び補習プリントを事前に予習する事。
		各コマにおける授業予定	模擬試験⑩		
第41回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第42回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第43回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第44回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第45回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			